

愛媛大学医学部へ献体することに同意いただいたご遺族の方へ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、ご遺体を様々な体位（仰向け、横向き、うつぶせ）に体位変換を行い、その際に内視鏡検査やCT撮影を行って咽頭の変化を調べます。さらに、各体位で実際に咽頭の手術操作を行い、操作のしやすさについても評価します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、ご遺体での画像や手術記録を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	献体を用いた経口的手術および画像診断における至適体位の解明
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 特任講師・助教 三谷 壮平
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027年3月31日
対象となる方	研究対象となるご遺体のご遺族の方
利用する試料・情報等	性別、没年齢、身長、体重、BMI、既往歴、身体所見、歯の状態、画像検査データ、内視鏡画像 等
研究の概要 (目的・方法)	<p>咽頭癌に対する治療の一つに「経口的手術」があります。この方法は体への負担が少なく、食事や呼吸といった人体に大切な機能を温存しやすいという利点があります。しかし、咽頭癌ができた場所によっては、術野が狭く見えにくいいため、手術操作が難しくなることがあります。安全で確実な治療を行うために、どの体位（仰向け、横向き、うつぶせ）が最も適しているのかを明らかにすることが重要です。</p> <p>この研究の目的は、ご遺体の体位の違いによって咽頭の広がりや見え方がどのように変化するかを明らかにし、経口的手術をより安全かつ確実に行えるようにすることです。</p> <p>当院にて保管しているご遺体を対象に、体位を変えながら（仰向け、横向き、うつぶせ）内視鏡検査とCT撮影を行います。これにより、のど</p>

	<p>の見えやすさや空間の広がり进行评估します。</p> <p>さらに、ご遺体の情報（性別、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、歯の状態、画像検査や内視鏡画像など）をもとに、体位と咽頭の形態との関係を解析します。</p> <p>その後、各体位で咽頭の粘膜切除を行い、手術操作のしやすさを比較・検討します。</p> <p>このように、ご遺体での実験により得られた情報を基に、経口的手術に最適な体位を科学的に検証します。</p>
個人情報の保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 三谷 壮平 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5366